

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅳ・演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	阿部俊彦・石岡和志・藤田博章	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

ソーシャルワークにおける相談援助の知識と技術にかかる他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助における知識・技術・価値について実践的に習得する。

【到達目標】

1. ソーシャルワークの展開過程とソーシャルワーカーの知識・技術・価値について、修得する。
2. ソーシャルワーク実践に必要なコミュニケーション能力を身に着ける。
3. ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に身に着ける。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 児童・家族領域におけるソーシャルワーク
- 第3回 児童・家族領域におけるソーシャルワーク (2)
- 第4回 高齢者領域におけるソーシャルワーク
- 第5回 高齢者領域におけるソーシャルワーク (2)
- 第6回 障害者領域におけるソーシャルワーク
- 第7回 障害者領域におけるソーシャルワーク (2)
- 第8回 地域が抱える問題に関するソーシャルワーク
- 第9回 地域が抱える問題に関するソーシャルワーク (2)
- 第10回 医療領域におけるソーシャルワーク
- 第11回 医療領域におけるソーシャルワーク (2)
- 第12回 被災地支援におけるソーシャルワーク
- 第13回 被災地支援におけるソーシャルワーク (2)
- 第14回 相談援助 (ソーシャルワーク) における知識・技術・価値の確認
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

演習形式。ソーシャルワーク実習を視野に入れた、具体的な援助場面を事例とした、グループワークを中心に行います。

【授業準備】

本演習は、連続性のある内容です。前回の演習や相談援助の展開方法について、復習しておくこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)、ソーシャルワークの理論と方法 I-IV、ソーシャルワーク演習 I-III

【教科書等】

教科書の指定はありません。演習回ごと、事例プリントを配布します。

【参考文献】

授業内で、適宜指示する。

【成績評価方法】

課題作成・発表(20%)レポート提出等 (60%)、演習への取組み姿勢 (20%) で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で生活相談員として勤務してきた。数々の相談業務の経験を活かし、実践的な相談援助の知識及び技術を伝えたい。

【学生へのメッセージ】

演習は参加型授業形式です。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、事前に指示された課題への取り組み等、積極的に参加してください。